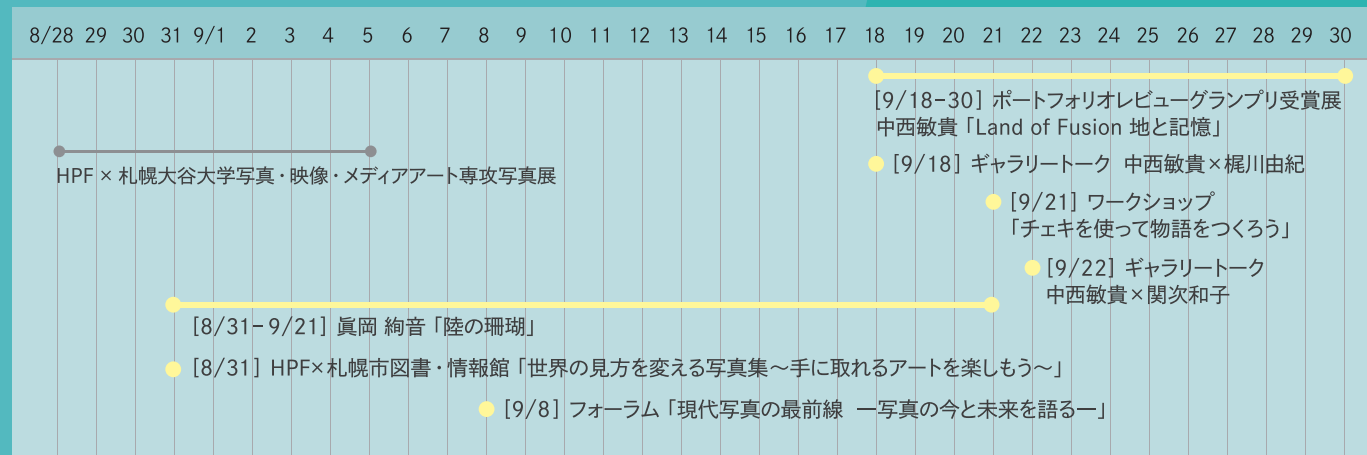


HOKKAIDO PHOTO FESTA 2024

EVENTS CALENDAR



開催に関する詳しい情報・オンラインイベントはこちらから



X
@hpf_2024



Instagram
@hokkaidophotofesta



YouTube



WEB SITE



Peatix

主催：HOKKAIDO PHOTO FESTA実行委員会

共催：公益財団法人 北海道文化財団

協賛：株式会社ラルズネット、北海道コカコーラ株式会社

Angelbird (株式会社銀座十字屋 ディリгент事業部)

株式会社アプリシエ

写真文化首都 北海道「写真の町」東川町

入江泰吉記念写真賞実行委員会、株式会社 Case、株式会社 shashasha

協力：富士フイルムイメージングシステムズ株式会社、アワガミファクトリー、札幌市図書・情報館、GALLERY ESSE

後援：北海道、札幌市、入江泰吉記念奈良市写真美術館



HOKKAIDO
ARTS FOUNDATION
公益財団法人 北海道文化財団

RALSNET

Coca-Cola



ANGELBIRD

instax

Awagami
Factory



入江泰吉記念
奈良市写真美術館

GALLERY ESSE



お問い合わせ先 hpf.sapporo@gmail.com



HOKKAIDO
PHOTO FESTA

今回で五回目となるHOKKAIDO PHOTO FESTA 2024では、「現代写真」をキーワードに開催いたします。「現代写真」という言葉から何をイメージするでしょうか。紙ではない素材にプリントする、額装しないインスタレーションの展示。もちろんそういった表現手段のことも指す場合もありますが、私たちはそれだけでなく、作品を“どんな視点から読み解くか”にも焦点を当てています。

私たちを取り巻く環境は常に変化し続けています。そこに写真家の視点が加わることで、一見遠いことのように感じる出来事をつなぎ合わせたり、個人的な出来事から社会の問題を紐解いたり、歴史的な出来事から現代に起きている問題を読み解いたりすることもできます。

本イベントでは、HPF2022のポートフォリオレビューにてグランプリを獲得し、その後も各地での個展や写真集出版と活躍が目覚ましい写真家・中西敏貴の企画展を中心にイベントを企画しております。展示を鑑賞するだけでなく、写真集に触れること、アートや写真における現在の表現について知ること、子ども向けワークショップでは実際に撮影することを体験いただけます。

多彩なイベントを通じて、写真のイメージの向こう側にあるさまざまな出来事を想像していただければ幸いです。

HOKKAIDO PHOTO FESTA 2024

8.31 Sat. - 9.30 Mon.

© Toshiki Nakamishi

みる

ポートフォリオレビュー グランプリ受賞展

中西敏貴
「Land of Fusion
地と記憶」

9/18[水]
→30[月]

10:00～17:00 入場無料
会期中無休

モエレ沼公園
ガラスのピラミッド アトリウム2／スペース2
(札幌市東区モエレ沼公園1-1)

Gallery talk

9/18
[水]

中西敏貴 × 梶川由紀

写真家

何必館・
京都現代美術館キュレーター

13:30～

9/22
[日]

中西敏貴 × 関次和子

写真家

東京都現代美術館学芸員

15:00～

当企画展では、HOKKAIDO PHOTO FESTA2022ポートフォリオレビューグランプリ受賞者である中西敏貴の作品「Land of Fusion 地と記憶」を展示します。サハリンから北海道へ渡ってきたオホーツク文化人の痕跡を探った作品群です。かつて存在した文化を写真を通じて再発見し、感じ取ってみてください。また、当企画展のキュレーターである梶川由紀と作家による作品解説や、東京都現代美術館の学芸員である関次和子と作家による作品の見方についてのギャラリートークも行います。

©Toshiki Nakanishi

第五回 入江泰吉記念写真賞受賞作品

眞岡綺音「陸の珊瑚」

8/31[土]
→9/21[土]

入場無料

12:00～17:00、金曜のみ～19:00
最終日は16:00まで
土日祝月休廊
※8/31[土]・9/21[土]は開廊

GALLERY ESSE 〈ミニギャラリー〉
(札幌市北区北9条西3丁目9-1 ル・ノール北9条1F)



©Ayane Maoka

チェキを使って 物語をつくろう

インスタントカメラ“チェキ”を使って
写真を撮る楽しさを体験するワークショップ。
モエレ沼公園内で撮影した写真で物語を作ります。

講師 関次和子 (東京都現代美術館学芸員)

9/21
[土]

1 10:00～ 2 14:00～ ※各回2時間程度 定員 各回12名

モエレ沼公園 ガラスのピラミッド スペース1
(札幌市東区モエレ沼公園1-1)

参加費 1,000円/人 ※親子で参加の場合は1,800円
対象 小学生以上のお子様とその保護者
※自分でインスタントカメラを操作できることが目安です

申込方法 peatix にて

お申込みは
こちらから▶



現代写真の最前線

—写真の今と未来を語る—

9/8
[日]

18:00～20:30 オンラインイベント

参加費 2,000円
参加方法 zoom にて配信(アーカイブあり)
申込方法 peatix にて

お申込みは
こちらから▶



フォーラム

当イベントでは、現在の写真表現の場においてどんな興味や関心があるのか、日本や世界の動向を踏まえてゲストがそれぞれの専門や経験を通してお話をします。また、ジェンダー、肖像権、AIなどの今の時代を生きる私たちに重要なトピックにも焦点を当て、写真表現の今後について考える場になることを期待します。

Guest

飯沼洋子

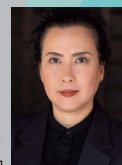
奈良女子大学
研究院工学系特任助教



1985年、大阪府生まれ。
京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程にてブラジルを中心とした現代アートを研究。仏在外文化施設ヴィラ九条山にて制作担当として「波文様」展(2023)をキュレーション、マネージメントする。R6年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」によるアートコミュニケーション人材育成プログラム『あ3』のコーディネーターを務める。

カルドネル佐枝

MUZ ART PRODUCE
代表



1970年、大阪府生まれ。
現代美術ギャラリー等勤務を経て、KYOTOGRAPHIE / KG+の初期メンバーとして運営に携わる。2018年にMUZ ART PRODUCEを設立。2024年より森記念製造技術研究財団の地域・文化支援事業委託研究員として、現代アートや写真に関するプロジェクトの企画・運営を行う。主なプロジェクトにARTAOTA、FOTOZOFIO、RED LINEなどがある。

ダニエル・アビー

写真・美術史研究者



1984年、アメリカ生まれ。
カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)美術史学部博士課程修了。美術史研究(写真)、評論家として日米を中心に活躍する。武蔵野美術大学「大辻清司フォトアーカイブ」にも携わる。評論「いま問われる、写真とジェンダーの関係性」(美術手帖、2020)、展評「歴史との関わりをどう展示するか。」(美術手帖、2021)など。

村上由鶴

秋田公立美術大学
ビジュアルアーツ専攻助教



1991年、埼玉県生まれ。
日本大学芸術学部にて写真を専攻し、東京工業大学大学院社会理工学研究科を修了。2024年より秋田公立美術大学ビジュアルアーツ専攻助教。単著に『アートとフェミニズムは誰のもの?』(光文社・2023年8月)、POPEYEでの連載「そもそも写真教室」The Fashion Post連載「きょうのイメージ文化論」ほか、雑誌やウェブ媒体等に寄稿。

HPF × 札幌市図書・情報館

世界の見方を変える写真集 ～手に取れるアートを楽しもう～

8/31
[土]

参加無料
14:30～

札幌市図書・情報館1階サロン
(札幌市中央区北1条西1丁目札幌市民交流プラザ内)

Speaker

タカザワケンジ

1968年、群馬県生まれ。
写真評論家。著書に『挑発する写真史』(金村修との共著平凡社)、『偶然の写真史』(triplet)ほか。WebマガジンPhoto & Culture, Tokyoで写真集編集についての連載「写真を編む人へ」を行う。HOKKAIDO PHOTO FESTAほかでレクチャー多数。京都芸術大学、東京総合写真専門学校、東京ビジュアルアーツ・アカデミーで非常勤講師を務める。



大西 洋

1966年生まれ。金融機関勤務、投資会社設立を経て2008年に美術情報誌Articleを創刊。2012年より日本とアジアの写真集にフォーカスしたオンライン書店shashashaをスタート。2015年には、Case Publishingを設立。写真集・アートブックの出版を軸に「表現としての本」をマニフェストとし、本の新しいメディアとしての可能性を追求、精力的に活動をしている。2022年、入江泰吉記念奈良市写真美術館館長に就任。



関連企画

8/28[水]
→9/5[木]

10:00～18:00(最終日は16:00まで)

茶廊法邑ギャラリー
(札幌市東区本町1条1丁目8-27)

HOKKAIDO
PHOTO
FESTA



札幌大谷大学
写真・映像・
メディアアート専攻

写真展

楽しむ

子供向けワークショップ